

科目名	特別演習				担当教員名	飯干 泰彦、石松 一真、今本 尚子、宇田 淳、大石 雅子、岡 耕平、榊原 修平、目 篤、清水 史恵、戸田 満秋、南部 雅幸、萩原 邦子、平河 勝美、別所 一彦、水本 一弘、和佐 勝史、和中 明生、石原 啓之
該当DP	1,2,3	単位数	2単位	特別演習	配当年次	1年次・第2セメスター（通期） 2年次・第3セメスター（通期）
曜日・時限		指導教員が指示する			教室	原則として各教員の研究室を使用する
授業概要						
主指導教員、副指導教員の指導のもと、各学生に課せられた研究課題を科学的に探求し、論文作成までつなげる能力を涵養する。研究テーマの設定、文献の検索、研究計画書の作成、データ収集と分析、論文作成の基礎、などの課程を指導する。						
到達目標						
1) 研究テーマを設定できる。 2) 文献の検索、収集、要約ができる。 3) 適切な研究手法を調査し、立案できる。 4) 研究倫理を説明できる。 5) 研究計画書を作成できる。 6) データの収集・分析ができる。 7) 研究成果をまとめ、中間報告会で発表できる。 8) 学術論文作成の基礎を説明できる。						
※ 本科目は、ディプロマ・ポリシーにおけるDP1、DP2、DP3の全ての到達を目標とする。						
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法
1 ～ 15		研究テーマの設定、文献調査、研究実施計画書の作成	研究テーマの設定と研究計画の作成に向けて、文献調査の方法、文献調査結果の要約、関連分野の研究情報の収集、などを修得する。次に研究倫理や行動規範をもとに研究実施計画書を作成し、研究倫理委員会を受審する。 [グループディスカッション] [プレゼンテーション]			○
16 ～ 30		研究計画に基づくデータ収集・分析と修士論文作成の準備	研究計画に基づき、必要なデータの収集・分析を行うとともに、学術論文作成の基礎を学修する。中間報告会に向けて研究成果をまとめ、口頭発表を行う。 [グループディスカッション] [プレゼンテーション]			○
キーワード		修士学位論文のテーマに沿って決定する			履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	特に指定しない。				
	参考書(任意購入)	指導教員が研究指導の中で随時紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		日頃の研究活動、中間報告会での発表等を総合的に評価する。				
授業時間外に必要な学修		指導教員の指示に従って実施する。				
学生へのメッセージ		修士学位論文は本研究科における学修、研究の集大成であり、その基礎を築くのが特別演習の目的です。皆さんの努力を期待します。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。